

～森林を災害から守る：持続可能な森林経営に向けて～

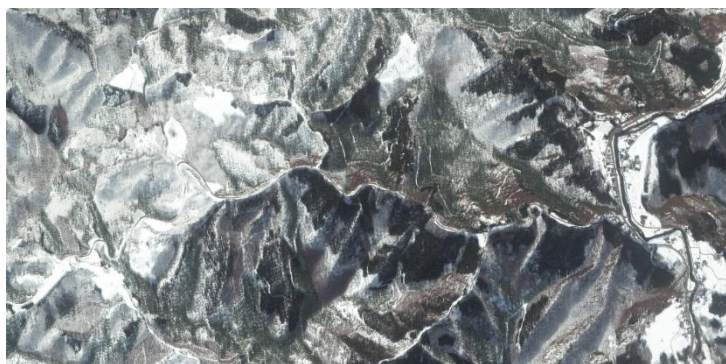
平成29年地域政策研究センター 地域協働研究【ステージ I】 採択課題

課題名：岩手県の森林・林業の再生に向けたICT活用による森林所有者への災害対策意識強化
研究代表者：ソフトウェア情報学部 講師 南野謙一
課題提案者：岩手県森林組合連合会 神 大士
研究メンバー：南野 謙一（ソフトウェア情報学部）、神 大士（岩手県森林組合連合会）
技術キーワード：森林経営、災害対策意識強化、森林保険

▼研究の概要（背景・目標）

森林認証制度の審査基準に謳われているように持続可能な森林経営に災害対策は不可欠であるが、岩手県の民有林の森林保険の加入割合は低い

そこで本研究では、森林所有者の災害対策意識を強化するために、森林所有者の抱える問題を明らかにしICTの活用方法を検討する



平成22～23年豪雪時の葛巻町北部（衛星画像）
＊平成22～23年豪雪では県内全域で森林被害が確認された。
Product(C) 2018 DigitalGlobe, Inc.

▼研究の内容（方法・経過）

1. 災害対策意識アンケート調査

葛巻町森林組合員から抽出した400名（森林保険加入者200名、未加入者200名）
2017年11月17日にアンケート調査票、返信用封筒を郵送する

2. 災害対策意識アンケート調査結果に基づき、リスク評価システムの実現について検討する

▼研究の成果（結論・考察）

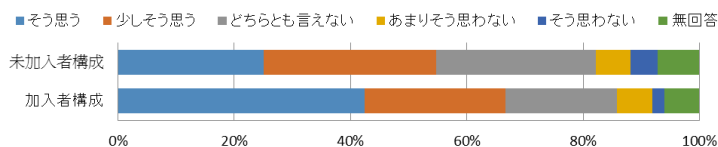
1. 災害対策意識アンケート調査結果

回答率は、森林保険加入者45.9%、未加入者42.0%となり、森林保険の未加入者は気象災害への危機感はあるものの、災害復旧に対する意識は低いことなどが分かった。

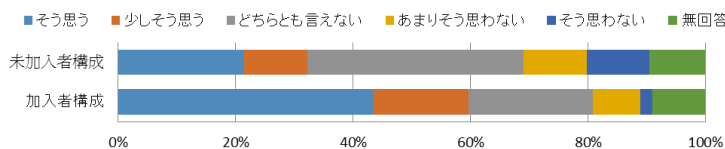
2. リスク評価システムの実現の検討

- 保険加入者には、災害対策を意識させ加入者離れを防止、保険未加入者には、災害対策を意識させるとともに保険加入により受けられる森林整備補助や森林組合への施業委託等を案内し、新規加入者を増加させる
- リスク評価システムの実現には、（1）低コストでの災害データ記録方法、（2）気象災害予測モデル、（3）森林所有者毎のリスク評価レポート生成、について研究開発する必要がある

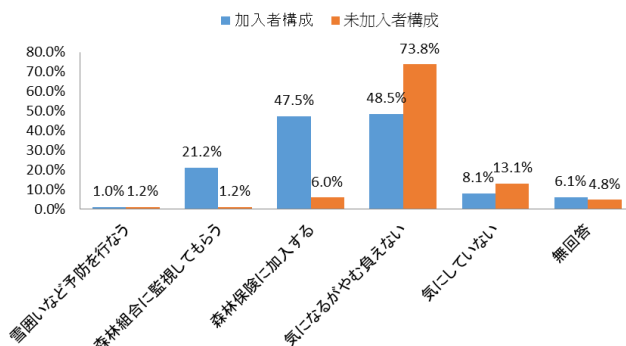
将来、あなたの森林が気象災害の被害に遭うと思われますか。（1つを選択）



もし、あなたの森林に気象災害にあった場合、森林を復旧しようと思えますか。（1つを選択）



気象災害対策について、あなたはどのようなことを行っていますか。（複数回答可）



災害対策意識アンケート調査結果（一部）

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

今後の展開の可能性について、（1）セーフティネット強化に向け行政組織に提言する、（2）リスク評価システムを実現する、（3）ワークショップ等を行い地域でリスク評価システムを運用する、ことがあげられる

アンケート調査にご協力いただいた葛巻町森林組合の職員、組合員の皆様、本研究を遂行するにあたりご協力いただいた日立ソリューションズ東日本の皆様に感謝申し上げます